

その他の事業のその他におけるその他の起因物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18～19	日勤を終了し帰宅準備をするため、更衣室で制服から私服へ着替えようとし、制服のズボンを脱ごうとしたところ、ズボンの裾にあるゴムが足に絡みバランスを崩したため、転倒を避けようと右足を床についた際に右足がひねった状態であったため、右足の小指側甲の部分に痛みがはしり負傷した。	31	10～29
1	16～17	事業棟内にて、新患者申し込み用紙をビニール紐で綴じる作業をしている時、用紙を綴じやすくするためセロテープで紐の先をまとめようとして、右端の机にあるセロテープをとり、机づたいに戻ろうと左に向いた際、壁に立てかけてある松葉杖（被災者が左腿肉離れで松葉杖を使用しており、被災時は机に立てかけてある状態だった）の先につまずき、尻もちをついて左足大腿骨頸部骨折を負った。	56	30～49
1	9～10	当日検針472枚を持参し自宅を出発し、転倒場所近くのマンションに駐車し、時間指定の検針場所へ向かうべく、多少早歩きで歩行中に、寒さで足がもつれ、前のめり（四つん這い）に転倒し、右膝を強打し受傷した。	51	100～299
1	19～20	施設内居室にて、利用者を車椅子からベッドに移床しようとしたとき、身体が下にずれていたため利用者の肩と臀部に手を入れ引き下げた際、右肩を痛めた。	60	30～49
2	15～16	校庭にて、学童と遊んでいる時、後ろ向きに何かに躓き左側にいた子どもにぶつかるのを避ける際バランスを崩し左足を捻って前方へ転んだ。左足第五中骨骨折の為、腫れが引くまでギブス固定安静後、手術を行い、術後しばらくギブスと松葉杖が必要とのことである。	59	10～29
2	11～12	事業場内で商品搬入中に、重量7kg程度の電化製品を持ち上げたところ腰に痛みを感じた。	23	30～49
		退勤時、就業場所の階段で1Fに下りる途中、2Fの踊り場に立ったところで、2Fフ		500

3	17~18	ロアに通じる扉が突然開いたため、扉が身体にぶつかり、その勢いで身体が飛ばされ転倒し、右腰と右背中を2F階段の辺りに強打し打撲した。	48	~ 999
3	11~12	病院診察室にて猫の診察中、保定をされていて噛まれた。	45	1~9
3	12~13	職場のマッサージルームの施術を行うブース内で、マッサージ利用者が施術ベットにうつぶせになり、利用者の頭側に立ち肩背部をマッサージ施術をしている状況で、左手関節から左手首および左手肘にかけて強い痛みを感じ、骨がミシミシ鳴った。	41	100 ~ 299
3	11~12	お客様宅で掃除機をかけていた際、じゅうたんをかける専用ローラーをつけてソファの下や棚の下の隙間を覗き込んでかけていたところ、固い小さいゴミがローラーの反動で強く飛び目に当たり、痛みと涙が出て、右目から出血した。	60	300 ~ 499
3	15~16	数日前より足に疲れがあり、その状態で業務を続行した。後日、バイクで開栓業務のため移動中、バイクから下車しようと足をついたとき、激痛がはした。その後、我慢しながら出社したが歩行困難となった。	63	30~ 49
4	17~ 18	コインランドリー店内清掃のため、バックヤードへ掃除用品を取りに行こうとした際、在庫で置いてあった洗剤につまずき左足小指を負傷した。	47	30~ 49
4	10~ 11	有料老人ホームに派遣労働者として勤務中、老人ホームの居室にて、入居者をベッドから車椅子へ移乗しようとしていた。ベッドの高さ調整を行ったあと、車椅子へ移乗を行った際に腰部と股関節に違和感を感じた。しかし、そのまま業務を続け、別の居室で別の入居者をベッドから車椅子へ移乗したところ、強い痛みが変わり、その後も痛みが続いた。昼食前の時間帯であり、移動動作を急いでしまった事が原因と考えられる。	56	30~ 49
4	6~7	倉庫1Fの荷捌場にてフォークリフトを停車して右側から下車する際に、バランスを崩して右足に体重が乗ってしまい、足をくじいて転んでしまった。元々、左足に障害を抱えており、普段も右側から降りる事が多いのだが、この日は業務が終了し早く帰ろうと急いで下車してしまいバランスを崩した。	48	1~9
4	5~6	巡回時に5Fボイラーを点火し、洗濯室を開錠し、再度ボイラー室へ移動する際に意識がなくなり、屋上キュービクル出入口扉の左下に頭から倒れ、ドアガラスを	50	300 ~

		破損した際にガラスで頭や顔を切る裂傷を負った。		499
4	17～ 18	室内にて棚の整理をしている際に、おもちゃを片付けて立ちあがろうとしたら、児童クラブの利用児童がぶつかってきたため転倒。腰に痛みがり、腰の捻挫と診断された。	52	～ 299
5	12～ 13	お客様のご自宅の庭にて、中型犬の散歩をしてリードを外そうとした時に噛まれた。	36	1～9
5	8～9	体育館で児童指導中、子どもが蹴ったドッジボールが目に当たった。	25	～ 9999
5	9～ 10	豚係留所内にて作業中、歩行困難な豚を発見したため、尻尾を持ち外へ引きずり出そうとしたところ、手が滑り転倒して、立ち上がることができなくなった。	36	10～ 29
5	9～ 10	出張先の山中で、シダの密集地の足場が不安定場所で境杭を打っている時にバランスを崩し約3m滑落し、咄嗟に左手を岩場につき左手首を負傷した。川の境界設置のため長靴着用し、ヘルメットも着用していた。	47	1～9
5	9～ 10	キャディー業務中、お客様の打ったボールを見ていたところ、他のプレーヤーの打ったボールが直接胸部に当たり痛めた。	65	50～ 99
6	20～ 21	フィールドでのセッティングの作業が終わり移動中、トラックでウォーミングアップ中の選手と接触した。	45	10～ 29
6	19～ 20	帰宅後、両手の人差し指・中指・薬指の計3本の指の付根付近に痛みとしびれが生じた。翌日に病院を受診したところ、腱鞘炎と診断された。その後も業務に従事し続けたところ、痛みがひかず、新たに親指にも痛みが生じ、手根管症候群と診断された。	43	30～ 49
7	10～11	作業開始前の準備中、洗浄機後ろに敷いてあるステンレスのスノコに足を取られ転倒、その際に準備していたラック及び台車に左脇腹を強打し肋骨を折ってしまった。	58	30～ 49
7	18～19	資材のみを置いている場所で、ダンプの荷台を清掃するために、荷台を下げて作業するため、後ろの荷台扉に右足を掛けて上がろうとしたが、フックが外れて扉	64	1～9

		が下がり、左足の甲の上に落ちて打撲。		
7	16~17	当組織が分収造林契約をしている山林内において、崖沿いで販売区域明示作業をしていたところ、崖の際が草で見えず、滑って足を踏み外し、3m程度下の沢へ滑落し、左膝頸骨高原骨折をした。	40	1~9
7	8~9	外国人技能実習生の面談のため客と共にベトナムへ出張に行った。その際、蚊に刺された、帰国後6日後に発熱し2日後に受診、その2日後に特殊感染のおそれがあるため転院となる。精査の結果、デング熱と判明した。	32	1~9
7	13~14	活動室外のテラスにいた行動障害のある利用者に、活動室の中に入るよう声をかけたが、声かけに応じず腹這いになったため、さらに室内への移動を促し肩を引っ張ったところ、怒った利用者に蹴られて負傷した。	54	100 ~ 299
7	11~12	当院診察室にて猫の処置後、ゲージ (ICU)に戻す際、突然暴れだし、猫の爪が右上腕に刺さった。	24	10~ 29
9	11~12	図書館のカウンター業務中、利用者様より返却された紙しばいが左目に当たり、その後だんだんと腫れてきた。	41	50~ 99
9	12~13	犬の散歩中に右前腕部をかまれ受傷した。	60	1~9
10	9~10	エリア・コンシェルジュカウンター付近で発生。業務の一環で、近隣の中学生を職業体験として受け入れる。受け入れた中学生1名が体調不良を訴え、コンシェルジュ休憩室で休めるよう移動中にその生徒が倒れこむ。被災者が駆けつけ近くの長いすに座らせようと抱えたところ、腰を痛めた。	45	300 ~ 499
10	13~14	当社の動物病院内で治療のため猫を抱っこしていたところ、手をすり抜けて逃げたので、捕まえたと同時に他のスタッフが加湿器のフィルターを掃除しようとしてスイッチを入れたため、その音に猫が驚き飛び跳ね、あわてて確保しようとした際、その猫にかまれ負傷した。	20	30~ 49
10	18~19	美容院内で猫をシャンプーしていたら急に暴れだして逃げようとしたので捕まえようとしたら、猫がパニックになり右第2指第2関節をかまれた。	56	1~9
		介護事業部事業所外のトイレを使用するために、徒歩3~4分程度離れたトイレを		

10	10～ 11	使用した後、歩いているときに足を捻った。（外のトイレを使用していた理由：事業場内のトイレを使用する際、使用する音が事務所に聞こえ、男性職員が「聞こえるね」などの会話をしているのを耳にし、事業場内のトイレの使用に抵抗を感じたため。）	50	50～ 99
11	14～ 15	当月頃から体の不調感が出始め、39度の発熱で欠勤し、内科を受診した。当初は風邪かと思えばしばらく欠勤し、まだ体調は不完全であったが2日間出勤した。翌朝にまた高熱が出たため欠勤し、内科を受診した。解熱剤が切れると熱が上がるのと、熱が何日も続き過ぎることで風邪ではないかもしれないということで、詳しく調べるため別の病院に紹介状を書いてもらい、そのまま緊急入院となった。検査の結果、仕事の疲労の積み重ねにより抵抗力が低下しているところ、職場にて人獣共通感染症（コリネバクテリウム属、ジフテリア、大腸菌など）に感染し、それにより感染性心内膜炎を発症したとのことであった。	41	10～ 29
11	16～ 17	社内研修の一環として、ローラースケート場でローラーブレードを装着しチーム対抗戦を行っていたところ、自身がブレーキをかけた間際に後方から滑って来たメンバーと接触し、その勢いで壁に激突して足を負傷した。研修は通常出勤扱いである。	30	500 ～ 999
11	12～ 13	当日の就業場所への通勤途上において、当該美術館入場用のスタッフパスをスタッフから受け取るため、美術館玄関の向かって左側の敷地内で待っていた際に、酔っていた通行人にいきなり右腕を引っ張られ負傷した。なお、当該労働者は、当社の音声ガイドの機械貸し出しの業務を行う予定であった。	50	100 ～ 299
11	11～ 12	19階執務室にて、研修用PCをセットアップ中に同僚からの受動喫煙にて体調を悪化させ、肺炎発症時のように、咳が出て頭痛がしたが、業務を継続した。その後、19階から15階へ研修用PCの搬送を開始した。1階北口通用門付近の空気にて、移動中に体調を悪化した。（同ビルの喫煙所は地下1階だが空調などによるものか、受動喫煙の症状が悪化）その後、15階にて上司に災害を報告した。	29	1000 ～ 9999
12	5～6	雪によりETCレーンのセンサー異常が発生したため、ETCレーンにてセンサー周りの除雪作業を行っている際、立ったり、屈んだりを繰り返しているうちに腰痛を発症したものである。	38	10～ 29

12	20~21	クリスマスツリーを職員3名で運搬作業中、被災者の前にいた職員の片足が、足を踏み込んだ時に後方へ滑り、その足に後ろから前進しようとした被災者が躓き転倒した。躓いた際に着用していた靴が脱げ、床に足指を強打した。	50	1~9
12	11~12	学童クラブの室内で、子ども同士のケンカがあり仲裁に入った際、子どもの肘が右胸横側に入り当たった。痛みが伴うため湿布を貼って業務を続けていたが、室内で玩具の片付け中に子どもが指導員の前を通ったときに子どもの手が痛めた右胸横側に当たり、痛みが増し、業務を続けることができなくなった。	59	—
12	15~16	厨房にて、洗い物作業から盛り付け作業に移る際、別の調理作業をしていた従業員の後ろを通ろうとしたとき、調理作業をしていた従業員が振り返ったため、本人に足先がぶつかり転倒し、左肩を強打してしまった。	69	30~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html